

## 水平連携促進事業講演会が開催されました！

2月1日肝付町、やぶさめ館で上記講演会が開催されました。内容を簡単に報告します。まず、木構造振興株式会社の西村代表取締役より「新局面を迎えた国産材産業」と題した講演がありました。最近の住宅取得者の購買行動や木造住宅産業の動向から国産材・乾燥材・高品位材・長大材・安価材・加工材・認証材が求められるようになってきている。国内製材品マーケットでは、国産材が39.9%になってきた。木造住宅1棟(40坪)の木材使用量は約20m<sup>3</sup>(H20)となってきた。柱材については国産材(製材・集成材)が60%(H21)となってきた。一方、新生産システムによる加工事業の効果は素材生産や流通・加工においても130%~180%ほど改善されてきたが、製材システムでは北欧や北米と比べて、製材歩留まりは変わらないが、生産性は35%から50%と、かなりの差がある。次に(独)森林総合研究所の黒田加工技術研究領域長により「木材乾燥の重要性とその技術開発」と題した講演がありました。住宅への乾燥材使用のメリットとして住宅性能面では1.部材の反り・曲がり・割れの減少。2.床鳴り発生の防止。3.壁・床の凹凸や亀裂の防止。4.壁・天井クロス、しわ、割れ、隙間、及び目切れの減少。5.カビ発生防止。また、施工面のメリットとしては1.部材寸法・変形の減少による施工性の向上。2.作業員減少によるコストダウン。3.工期の短縮。4.構造強度の向上。5.部材加工性の向上。等があげられました。他に乾燥方法の違いによる、乾燥仕上りの違いやコスト差等メリット・デメリットについて説明された。

## 合法木材流通促進研修会が開催されました！

2月6日上記研修会が行われました。この中で、木質バイオマスの証明制度について新たに説明がありましたが、利用される木材(未利用材・一般木材・一般廃棄物・リサイクル木材、等)により、発電の固定価格買い取り金額が異なるため、同じ発電量でも使用原料の違い(割合)により売電価格が異なる事になり、納入業者には細かい区分が要求されることになりそうです。実務上簡単でなければ、難しいのではないのでしょうか？

### 【情報】

「レーザー加工における先端技術講座」が開催されます

最新のレーザー加工機が工業技術センターに導入されました。この活用のための講習会です。木材だけでなく金属・皮・布等、色んな物が切断できます。

日時 3月8日(金) 13:30~16:30

場所 鹿児島県工業技術センター 大会議室

講義 「CO<sub>2</sub>からファイバーへ進化するレーザー加工技術」

参加費 無料 定員 30名(先着順)

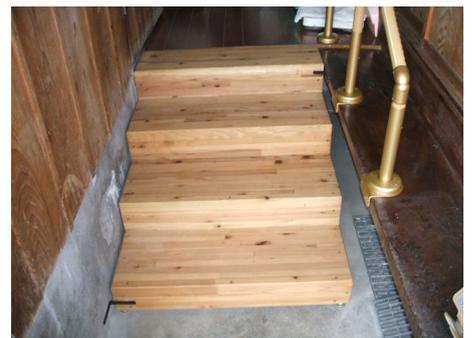
申込 TEL 0995-43-5111 (工技センター企画支援部)

### 【定休日】

3月は3, 10, 16, 17, 23, 24, 30, 31日となります

4月は6, 7, 12, 14, 20, 21, 27, 28日となります

宜しくお願いします。



当社製作の介護改修踏台